

家庭数配布

令和4年9月30日

三日市小学校保護者のみなさまへ

河内長野市立三日市小学校
校長 北野良和

令和4年度全国学力・学習状況調査及び小学生すくすくテストの結果を受けて

4月19日(火)に全国の小学6年生・中学3年生を対象に「令和3年度全国学力・学習状況調査」(以下学調)が実施されました。また、大阪府の小学校5年生6年生を対象とした「小学生すくすくテスト」(以下すくすく)も4月22日(金)に実施されました。

学調では、国語・算数・理科と児童質問、すくすくでは、6年生にわくわく問題(教科横断型問題)と児童アンケート、5年生に国語・算数・理科、わくわく問題と児童アンケートが実施されました。

学調の内容は、国語・算数・理科では、「知識(身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等)」と「活用(知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等)」を一体的に問う問題と、児童質問では、「学習意欲」「学習方法」「学習環境」「生活の諸側面」等に関する調査が実施されました。

すくすくの内容は、わくわく問題では、文章や絵、図、表、グラフ、ホームページなどを読み、自分の考えを書くなどの問題、3教科の問題では4年生までにそれぞれの教科で学習した内容の問題、児童アンケートでは、子どもたち自身のことや、学校やふだんの生活のことなどについての質問が実施されました。

それらの結果が先日公表されましたので、本校の結果を報告します。

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること、さらに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としています。本調査の結果は学力の特定の一部であり、公表によって学校の序列化につながらないように配慮することが文部科学省より示されています。

本校といたしまして、この調査を通し、子どもたちの学力と学習の状況を正確に把握することで、教員の指導力・授業力の向上につなげていくことが本来の趣旨と考え、本校の子どもたちの長所、また、課題と課題解決のための手立てについて、学調を中心に考えていきます。

○調査問題の内容について

1. 教科（国語・算数・理科）に関する調査

《国語》

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の内容に基づき、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものが精選され出題されました。「知識及び技能」から、言葉の特徴や使い方に関する事項・情報の扱い方に関する事項・我が国の言語文化に関する事項、「思考力、判断力、表現力等」から、話すこと・聞くこと・書くこと・読むことが出題されました。なお、これらの問題は5年生までの内容です。

《算数》

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の各領域に示された内容から出題されました。なお、これらの問題は5年生までの内容です。

《理科》

「Aエネルギー・粒子」「B生命・地球」の二つの内容区分から「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」等の科学の基本的な概念等を柱とした内容から出題されました。なお、これらの問題は5年生までの内容です。

2. 質問紙調査

《児童・生徒に対する調査》

基本的な生活習慣、挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、ICTを活用した学習状況、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況、学習に対する興味・関心や授業の理解度等、についての質問でした。

○調査結果を受けて

《国語概況》

全国平均と比べると、全ての問題でほぼ全国平均の正答率であった。「読むこと」の問題は全国平均を上回っていたが、「我が国の言語文化に関する事項」と「書くこと」が全国平均を下回っていた。

《算数概況》

全国平均と比べると、全体的に全国平均を少し下回る正答率であった。「データの活用」は全国平均を上回っていたが、「数と計算」「図形」は全国平均を大きく下回っていた。特に「二つの数の最小公倍数を求めることができる」問題は大きく下回っていた。

《理科概況》

全国平均と比べると、全ての問題でほぼ全国平均の正答率であった。「エネルギー」を柱とする領域の問題は全国平均を上回っていたが、「生命」を柱とする領域の問題は全国平均を下回っていた。特に、「昆虫の体のつくりを理解している」問題は大きく下回っていた。

《児童生徒質問紙調査より》

基本的な生活習慣等では、携帯電話やスマートフォンについての項目があり、「普段、1日あたりどれぐらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか」の項目では、1時間以下が約15%との回答がある一方で、3時間以上は約25%との回答がありました。ちなみに、昨年度の保護者アンケート（全国・抽出者のみ）で同項目の回答を、保護者は1時間以下約30%、3時間以上10%と回答しています。実際の子どもたちの様子と保護者からの見た目との開きがあることが分かります。

また、「携帯電話やスマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束をしたことを守っていますか」の回答では、守っているは約60%に留まり、守っていないは約10%、約束は無いが約15%いました。なお、“持っていない”と回答する子どもは約20%でした。

挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等では「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で、否定的回答が約20%と自己肯定感の低さがうかがわれます。また、「将来の夢や目標を持っていますか」の項目でも否定的回答が約20%となりました。しかし、「人が困っているときは、進んで助けていますか」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「友達と協力するのは楽しいと思いますか」の項目では、約95%の肯定的回答がありました。

学習習慣、学習環境等の、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目や「国語・算数の勉強は大切だと思いますか」の項目では約95%の回答があり全国平均を大きく上回っています。

しかし、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目では、約40%の否定的回答がありました。また、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」の項目で、約30%が全くしないと回答しています。

○子どもたちの学力を高める手立て

《学校が重点的に取り組んでいくこと》

《国語》

- ・日記やノート等を書く際、積極的に既習の漢字を使用するよう指導する。
- ・普段の漢字の学習から、漢字を使った短作文などを使用し、意味を考えながら読み、書く指導をする。
- ・読書の時間等を利用し、長文を読み、文章構成に慣れ親しませる。
- ・文章の中のキーワードやキーセンテンスを見つける指導をする。

《算数》

- ・文章から必要な情報を読み取り、簡単な図や絵でかけるようにイメージ化する指導をする。
- ・何分間、何分前、何分後などの用語を、日常生活の中で使用し、時間の感覚をつかめるようにする。
- ・面積の公式のように多数種類があるものを覚えるため、日頃から公式の必要な問題に触れるようにする。
- ・情報を取捨選択していくことができるよう、情報過多の問題に慣れるよう指導する。

《理科》

- ・理科の実験器具、用具の名前を指導者側がしっかりと呼称することや黒板等に記述することで、定着の支援をする。
- ・観察や実験の結果から、具体的な数値をだすなど根拠をわかりやすく表す場面を設定した指導をする。
- ・自分と周りの気付きの違いを捉え、違いを見いだす場面を設定した指導をする。
- ・習得した知識をより深く理解できるよう、習得した知識を使って日常生活に活かせるよう指導する。

《児童のみなさんに取り組んでほしいこと》

- ・問題を解くために、最後まで続ける努力、何かを書こうとする努力を続けてほしい。
- ・授業を大切にし、めあてを持って取り組んでほしい。
- ・習った漢字を忘れないよう繰り返し練習をする。文章を読むときに、漢字の意味を考えながら読むようにする。文章を書くときに、習った漢字を積極的に使うようにする。
- ・初見の文章をすらすら読み、内容を読み取ることができるよう、日々の音読を大切にする。
- ・日常生活の中で、たす、ひく、かける、わるを使っていることを意識する。
- ・日常生活の中にあるたくさんの情報から、必要な情報を選びだし活用する力をつける。

《保護者のみなさまに協力してほしいこと》

- ・今回の調査では「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束をしたことを守っていますか」の項目で、家の人と約束を“守っている”と答えた子どもが約60%でした。現在、ネット等によるトラブルは増加傾向にあります。また、携帯電話・スマートフォンやコンピュータ、ゲーム機等を長時間使用する子どもは、正答率が低い傾向にあります。そして、保護者からの見た目と実際の子どもの様子との違いも見えています。携帯電話・スマートフォンやコンピュータ、ゲーム機等の使用について改めてお子さまと確認をしてください。
- ・情報を整理する力が高ければ高いほど、正答率も高い傾向にあります。日常生活の中にあるたくさんの情報の中から、本当に必要な情報を見つけられるよう、社会の諸問題について考えるきっかけを作っていただければありがたいです。